

南仏治安情報(2010年8月)

■プロヴァンス地方

1. 金のネックレスを狙った引ったくりに注意

マルセイユ市を中心に金のネックレスを狙った引ったくりが前年に比べ 30%の増加を見せており、特に貴金属価格の高騰を受けここ数ヶ月で多発しています。犯人の多くはスクーターに乗った 2 人組で、一人が通行人を押さえつけ刃物等でネックレスを切断し、スクーターですぐに逃走するまで犯行には 10 秒もかからないようです。十分ご注意ください。

2. 商店への連続強盗犯を逮捕

8 月には地方紙が報じたものだけでも 14 件の商店等への強盗事件が発生しました。その内 Port de Bouc と Martigues 市で起きた 7 件の強盗事件は 19 歳の男の単独犯行によるもので、男は 8 月 18 日に逮捕されました。事件は量販店やファーストフード店等で日中にも多く起こっていることから、他の利用客も事件に巻き込まれる恐れがあります。ご注意ください。

3. 路上でのカージャックが多発

8 月中にマルセイユ市を中心に 9 件のカージャックが起きました。道を尋ねた女性運転手がナイフで脅され車を盗まれたり、事故を装い後部から車をぶつけられ運転手が車外に出た隙に強奪するもの他、治安の悪い地区までタクシーを乗りつけ料金を払う際に武器を見せ、そのままタクシーを盗む事件もありました。

4. 未成年による犯罪が増加傾向に

ブーシュ・デュ・ローヌ県では未成年による犯罪が全体の 23%(暴力事件)40%(窃盗や空き巣狙い等)と大きな比率を占めています。これを受け Auriol、Gignac、Cabries、Bouc-Bel-Air、Simiane、La Ciotat、Chateurenard、Les Pennes-Mirabeau の各自治体では、未成年犯罪者に 30 時間の無償労働を課し、保護者と共に警察へ召還、教育機関へ通学していない場合は復帰できるようサポートをする新たな対処法を 9 月より導入する予定です。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. 刃物を用いた通り魔に注意

8 月には地方紙が報じたものだけで 6 件の刃物を用いた傷害事件が起きました。その内 2 件は通行人を狙った無差別犯行で、ニース市内で夕刻に女性が痴漢に刃物のようなもので腕を刺されたり、8 月 1 日朝 6 時 30 分頃 Juan les Pins で起きた事件では、30 代男性 2 名が 4 人組の男に理由もなく何度もナイフで刺され意識不明の重体に陥る事件もありました。

2. 携帯電話を狙ったスリや引ったくり

ニース市内では路上やバス内での携帯電話を狙ったスリや引ったくりが後を絶ちません。中には引ったくりに抵抗したため転倒し負傷する事件や、暴力を加えたり催涙ガスを吹きかけて携帯電話を盗む事件も起きています。高機能なものは高額で転売もしやすいことから狙われやすいようです。公共の場で使用する際などは十分ご注意ください。

3. 偽造クレジットカード使用のエストニア人を逮捕

8月17日及び18日に Cannes 市と Monaco にて、偽造クレジットカードを所持・使用していたエストニア人5名が逮捕されました。犯人は10枚近くの偽造カードを所持しており、自宅からカード製造機も押収されました。8月末段階で79000ユーロの被害額が確認されています。

4. コルシカ島での爆破事件が多発

コルシカ島では2010年に入り FLNC(コルシカ民族解放戦線)によるものと見られる48件の別荘等への爆破事件、7件の爆破未遂事件が起こっています。8月24日には Porto-Vecchio の銀行と Barbaggio の地下倉庫が爆破され、8月25日には Ajaccio で子供を含む家族全員が縛られた後、屋外に連れ出され家を爆破される事件が起きました。

■ミディ・ピレネー地方

1. 銅を中心とした金属窃盗が多発

近年の金属価格の高騰を受け、工事現場などでの金属部品の窃盗が多発しています。特に銅は1キロ当たり4ユーロと高価なため、家屋建築用の銅ケーブルや電気工事用のケーブルを工事現場から盗んだり、旧型テレビ内に使われている部品を廃棄場から盗んだりする事件が後を絶たないようです。

2. トゥールーズ市内で一週間に27件の空き巣被害

8月15日にトゥールーズ市警察が発表した数字によると、8月第2週だけで Mirail 地区付近で27件の空き巣被害が起きたそうです。犯人の多くは窓や玄関ドアを破壊して侵入しており、音響機器や宝石類、現金などが特に狙われています。改めて日常の戸締り強化や長期間留守にする際などにはご注意ください。

3. Hérault 県でも空き巣被害が6.5%増加

2010年7月～8月の2ヶ月間に、相次ぐ空き巣被害の対策として警察による路上での取調べが行われ、Hérault 県内で約4500台10000人が調査の対象となり、盗難車や車内から空き巣で盗んだものと見られる物品が押収されました。県内では前年に比べ空き巣被害が6.5%も増加しており、今後も注意が必要です。

4. トゥールーズ市の路上生活者数5000～7000人

トゥールーズ市内の路上生活者(SDF)は5000～7000人とかなり多く、年々増加傾向にあることが明らかになりました。これはフランス国内の大都市の中でも比較的温暖で、路上生活者を援助する団体も多いことが好まれる理由のようです。ただ酔っ払った路上生活者同士の喧嘩や飼い犬による通行人への妨害行為、恐喝行為も多く、今後の対応が求められています。

以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。